

## 消化器・総合外科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。手術前の説明時に、医学研究へのご協力を同意していただきました内容に則して適正に実施致します。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 切除可能境界膵癌及び切除不能局所進行膵癌に対する前治療戦略の解明

【研究機関】 奈良県立医科大学附属病院 消化器・総合外科

【研究承認】 当大学医の倫理委員会での審査を経て学長より許可されました。

【研究実施期間】 2019年9月から2022年12月までを予定しております。

【研究代表者】 赤堀 宇広（消化器・総合外科）

【研究資金】 なし

【利益相反】 本研究に携わるすべての研究者はいかなる利益相反も有していません。

【研究の目的】 切除境界膵癌、切除不能局所進行膵癌に対する至適な術前治療の種類、至適前治療期間、予後へ与える影響を明らかにする。

【研究の意義】

切除不能局所進行膵癌、切除可能境界膵癌\*の予後は不良であるが、近年の新規化学療法の開発により、先行治療が奏効することにより、良好な成績を得られる症例が増加している。しかしながら、術前治療の種類、期間、予後に対する真の臨床的意義は、未だ十分に確立していない。今回の研究の遂行により、切除不能局所進行膵癌び切除可能境界膵癌に対する新たな治療戦略の構築が可能となる。

\*切除可能境界膵癌とは、膵臓癌が門脈や上腸間膜動脈などの重要な血管に浸潤、あるいは強く接しており、手術先行による外科的切除を施行しても癌が遺残する確率が高く、良い結果が得られない可能性がある膵癌のことを示します。

【研究の方法】 当院で治療を受けられた切除不能膵癌、切除可能境界膵癌様の電子カルテ内の情報を用いて、統計学的に解析を行います。

●対象となる患者さん

2008年1月より2019年6月までの間に当院で治療を開始された局所進行膵癌、切除可能境界の患者様。

●利用する情報

- 患者情報：性別、手術時年齢、生存情報
- 治療歴情報：術前化学放射線治療歴、血液検査結果、周術期情報

[個人情報の取り扱い]

カルテから、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報を削除した上で、上述の情報のみを残したデータを用いて解析します。

[患者様の負担や利益] 本研究による患者様の負担や利益は生じません。

\*上記の研究にカルテ情報等を利用することをご了解いただけない場合や、研究に関する資料閲覧の希望などの問い合わせがありましたら、下記にご連絡ください。なお、ご了承いただけない場合に何らかの不利益を被ることはありません。

[問い合わせ先]

奈良県橿原市四条町 840

奈良県立医科大学附属病院                      消化器・総合外科 担当医師 赤堀 宇広

電話 0744-22-3051    FAX: 0744-24-6866    e-mail: [surg-1@naramed-u. ac. jp](mailto:surg-1@naramed-u.ac.jp)